

Dr.M'zの京都紀行 その五

今回は伏見稲荷大社を紹介しよう。



京都市伏見区にあるこの神社は
全国4万カ所にある稲荷神社の総本社である。

これが『楼門』である。



初詣の時期には全国から大勢の人が押し寄せ、
その参拝者数は全国4位にもなるという。

また、その両脇には

全国の稲荷神社でも見ることができ狐の像が立っている。



その歴史は古く、700年頃に

伊呂巨秦公(いろこのはたのきみ)が稲荷山の3つの峯に

それぞれの神を祀ったことが始まりとされている。



また、伏見稲荷大社で有名なのが『鳥居』である。



この鳥居は、全国から奉納されたもので
その数は1万基を超えるという。



鳥居の大きさは大小様々で

古く壊れた物は次々と新しい物へと建て替えられている。

特に『千本鳥居』と呼ばれる箇所は

小さな鳥居が狭い間隔で続いており、観光名所になっている。



この鳥居をくぐりながら、稲荷山を登って行くのが

伏見稲荷大社の参道である。



参道の途中には『おもかる石』がある。

この石の前で願い事をした後で、石灯籠の頭を持ち上げる。

自分の予想よりも石が軽ければ、

その願い事が叶うという。



この石の重さ、見た目以上に重いので

全力で持ち上げた方がいいだろう。

参道を登っていくこと1時間ほどで
稻荷山の中腹まで来ることができた。



実はこの後も、参道は1時間ほど続くのだが
その先は、ぜひ自分の目と足で確かめて欲しい。

では、また次の機会にお会いしよう。